

報道関係各位

令和 5 年 1 月 12 日

独立行政法人国立科学博物館

# 北陸初!東京で好評を博した展覧会「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」

金沢 21 世紀美術館における開催および報道内覧会実施のお知らせ

国立科学博物館(館長: 篠田謙一)は、2023(令和5)年1月27日(金)から2月8日(水)までの期間、下記のとおり、巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」を開催いたします。

また、本展の開幕に先立ち1月26日(木)に別添のとおり報道内覧会を実施いたしますので、 併せてご案内申し上げます。

国立科学博物館では、およそ 495 万点ほどの膨大な標本を有していますが、その多くは収蔵庫に保管され普段は公開されていません。この展示では、その収蔵庫の中から世界屈指の動物標本コレクションとして知られる「ヨシモトコレクション」を中心に、選りすぐりの哺乳類などの標本を紹介するものです。日本各地の美術館・博物館や商業施設など多様な施設で展示することを目的に制作した巡回展示を、金沢 21 世紀美術館で開催します。

本展の開幕に先立ち、別添のとおり 1月26日(木)午後4時30分~午後6時に、報道内覧会を 実施します。つきましては、広報に関して特段のご支援・ご協力を賜りたくお願いいたします。

記

【会 場】金沢 21 世紀美術館 地下1階 市民ギャラリーB(石川県金沢市広坂 1-2-1)

【会 期】2023(令和5)年1月27日(金)~2月8日(水)

【開室時間】午前10時~午後6時(入場は閉室の30分前まで)

【閉 室 日】1月30日(月)・2月6日(月)<u>※会期等は変更となることがあります。</u>

【入 場 料】無料 ※金沢21世紀美術館への入館も無料です。

【主 催】独立行政法人国立科学博物館

【共 催】金沢 21 世紀美術館(公益財団法人 金沢芸術創造財団)

【展示概要】別添の本展チラシ参照

【お問合せ】国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター

展示開発・博物館連携グループ 展示開発担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL: 03-5814-9808 FAX: 03-5814-9899 E-mail: junkaiten@kahaku.go.jp

### 巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」 報道内覧会のお知らせ

2023 (令和 5) 年 1 月 26 日 (木) 午後 4 時 30 分~/金沢 21 世紀美術館

国立科学博物館では、巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」の開幕に先立ち、下記のとおり報道内覧会を実施いたします。

当日は、本展監修者による展示解説を行いますので、ぜひご参加いただき、記事として取り上げていただければ幸甚です。

記

【日 時】 2023 (令和 5) 年 1 月 26 日 (木) 午後 4 時 30 分~午後 6 時 (受付開始 午後 4 時~)

【会 場】 金沢 21 世紀美術館 地下 1 階 市民ギャラリーB(石川県金沢市広坂 1-2-1)

【受付場所】 金沢 21 世紀美術館 地下 1 階 市民ギャラリーB 会場入口

#### 【アクセス】 JR 金沢駅から

JR 金沢駅バスターミナル兼六園口(東口)3番、7番乗り場よりバスにて約10分「広坂・21世紀美術館」にて下車すぐ。兼六園口8~10番乗り場よりバスにて約10分「香林坊(アトリオ前)」下車、徒歩約5分。 詳しくは、金沢21世紀美術館ホームページにも記載されています。

WEB O URL: https://www.kanazawa21.jp/data\_list.php?g=7



#### 【当日のスケジュール】

午後 4 時~ 受付開始 (受付場所: 地下 1 階 市民ギャラリーB 会場入り口)

午後 4 時 30 分~午後 6 時 報道内覧会(会場:地下 1 階 市民ギャラリーB)

※本展の監修をした、国立科学博物館の研究者が展示解説を行い、皆様からのご質問にお答え します。

※一部映像を除き展示室内の撮影が可能です。

#### 【注意事項】

- ・ 本内覧会は事前申込制(先着順)となります。ご参加くださる場合には必ず事前にお申込み ください。
- お申込み数によっては、期日前であっても締め切らせていただきますのでご容赦ください。
- ・ 会場の混雑状況により、ご入場までお待ちいただくことがございます。開始直後の時間帯を 避けて、ご来場いただくことをお勧めいたします。
- ・ 会場内の撮影は三脚/脚立/照明の使用は不可となります。詳細が事前に必要な場合は、下記 お問い合わせ先までご連絡ください。
- 開会式、一般内覧会は実施いたしません。
- ・ 新型コロナウイルス感染拡大の状況等により、報道内覧会を中止する場合があります。予め ご了承ください。

#### 【ご参加の方へのお願い】

- 37.5 度以上の発熱や咳、くしゃみ、鼻水などの症状があるお客様、体調の優れないお客様の ご来館はお控えいただきますようお願いいたします。
- ・ 館内の密集を防ぐため、美術館出入口を本多通り口(総合案内近く)、市役所口(市民ギャラリー、シアター21近く)、地下駐車場口(市役所・美術館地下駐車場直結)の3箇所のみとして、館内への入場制限を実施しています。
- ・ 入館時に来館者の検温の実施を行っていますので、検温にご協力ください。37.5 度以上の発 熱がある場合には入館をお断りいたします。
- マスクは必ず着用して下さい。また、咳エチケットにご協力をお願いいたします。
- 会場の出入口にアルコール消毒液を設置しております。手指の消毒にご協力ください。
- ・ 飛沫予防のため、館内での会話等は極力お控えいただきますようお願いいたします。
- ・ 他のご参加者との距離は、できるだけ 1.5m 以上空けてください。
- 館内で体調が悪くなられた場合は、お近くのスタッフまでお申し出ください。

#### 【お申込み方法】

報道内覧会に参加を希望される方は、<u>1月23日(月)午後5時まで</u>に、以下必要事項を記載の上、国立科学博物館展示開発担当 junkaiten@kahaku.go.jp あて、メールにてお申込みください。

- ・件名:巡回展「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」報道内覧会申込
- お名前
- ・ご所属
- ·緊急連絡先(携帯電話番号)
- ・メールアドレス
- ※緊急連絡先とメールアドレスにつきましては、代表者の方のみで構いません。
- ※ご参加は 1 媒体 2 名様まででお願いいたします。

(テレビ撮影など、撮影人数が必要な場合は上記の限りには含みません。)

上記アドレスより折り返しのメール連絡をもって受付完了とします(概ね3 日以内にお返事します)。迷惑メールの設定などをされている場合は、受信できるようにご設定ください。

※いただいた個人情報は、報道内覧会以外の連絡には使用しません。

また、厳重に管理し、報道内覧会終了後、1ヵ月以内に破棄いたします。

#### 【お問合せ・お申込み先】

国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター 展示開発・博物館連携グループ 展示開発担当

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20

TEL:03-5814-9808 FAX:03-5814-9899 E-mail: junkaiten@kahaku.go.jp

#### ヨシモトコレクションについて

1946 年から 1995 年にかけて世界中からハンティングによって得られた標本群です。ハワイ・オアフ島のW. T. ヨシモト財団より、国立科学博物館へ寄贈されました。哺乳類・鳥類・爬虫類の標本 412 点からなり、多くは全身が剥製として残されていて、現在では調査が困難な地域の標本も多数含まれており、きわめて学術的価値の高いものです。

#### 巡回展キット「WHO ARE WE 観察と発見の生物学」の特徴

#### ■ 巡回展による標本資源の活用モデルの構築

国立科学博物館の収蔵庫で保管されている標本を全国規模で巡回させることで、博物館が持つ資源の価値を世の中に提示するための新しいモデルとして構築します。

#### ■ 全国の多様な施設への貸出

巡回展キットとして貸し出すことにより、科学系博物館だけではなく全国の美術館や商業施設 をはじめとした多様な施設での開催が可能となります。全国の様々な施設で、来場者が標本に出 会い、驚きや発見を体験する機会を創出していきます。

#### ■標本資料の観察を通じて「発見の体験」をする展示

テーマは「観察の眼、発見の芽」です。"声なき標本たち"の姿を通して、見つめる眼(観察)と見つける眼(発見)を育み、他の動物との意外な共通点、私たちの日常とのつながりなど、標本にまつわる学びや問いを発見することができる展示となっています。

動物の剥製1点1点を美術作品のようにじっくりと観察するという展示方法で、来館者と剥製の新しいコミュニケーションの形をつくります。 ここで標本に付帯するのは、解説ではなく、観察するための「視点」の提示です。 それは展示を体験する人を「自分なりの気づきを得られる体験」・「新しい発見や驚き」へと導きます。

#### イラスト:展示体験フロー



① 日の前の刺製を観祭。 キャプションは最小限の情報のみ。

② 引き出しを閉じている状態で展示。 意外性のあるタイトルで興味喚起。

受引さ出しを開けると観察のピントか。 発見の芽を見つけることができる。

ふたたび刺殺を観祭。新たな問いや気づきを自分で発見。

※感染状況や混雑状況により、引き出しの開閉が出来なくなるなど、体験方法を変更する場合があります。予めご了承ください。

#### 過去の開催

- ・大分県立美術館(大分県)2021年7月22日(木・祝)~9月12日(日)
- ·国立科学博物館(東京都)2022年8月5日(金)~10月10日(月・祝)

#### 【本展監修者】

国立科学博物館 動物研究部 研究主幹(農学博士) 川田 伸一郎(かわだ しんいちろう) 1973年、岡山県生まれ。

専門はモグラ研究。名古屋大学大学院博士課程入学後のロシア留学で 標本作製に目覚め、職を得た同館の資料充実に奔走する。

著書に『モグラ博士のモグラの話』、『標本バカ』、『アラン・オーストンの標本ラベル』などがある。





サバンナの動物に目と鼻の先で向き合い、 数億年前に絶滅した遠い祖先を見つめ、 南半球と北半球の動物をすぐそばで比較する。 距離を、時間を、種をこえる多様な剥製。 展示台の引き出しに収められているのは、 これまでとは違う角度から 世界を見るための視点の標本。 開けるたびに増えていく新しい見方、 少しずつ引き出されてくる好奇心。 ふたたび剥製に目を向けると、 それまでとは異なる姿に見えてくる。 気づかなかった不思議に気づき、 わかった気になっていたことが、 わからなくなることも。 そして静かに浮かびあがってくる問い。 哺乳類とは、ヒトとは何か。 私たちは誰なのか。 剥製を見ていたはずなのに、 いつの間にか世界を見ている。自分を見ている。 それは、目の前の出来事と 地球の出来事がつながりはじめるとき。 声なき剥製だから伝えることができる生物学。

#### 本展公式サイト

https://www.kahaku.go.jp/renkei/whoarewe/kanazawa/ ※会期・開館時間等は変更になる場合がございます。

#### [入館に際しての注意事項]

- ●入館前に検温、体調等の確認をし、発熱等がある場合は入 館をお断りします。
- ●入館中はマスクを着用し、咳エチケットを心がけてください。



本展公式サイトはこちらから



## WHO ARE WE

### 観察と発見の生物学

国立科学博物館収蔵庫コレクション | Vol. 01 哺乳類



金沢21世紀美術館 〒920-8509 石川県金沢市広坂1-2-1 「アクヤス】

JR金沢駅バスターミナル 兼六園口(東口)3番、7番乗り場より バスにて約10分「広坂・21世紀美術館」にで下車すぐ。 兼六園口8~10番乗り場よりバスにて約10分「香林坊(アトリ オ前)」下車、徒歩約5分。

# 広報用写真提供

広報用として写真をご用意しております。

国立科学博物館ホームページの各種手続き・報道関係資料→写真の貸出からお申込みできます。

https://www.kahaku.go.jp/procedure/rent/index.html



(ポスター:©国立科学博物館)

1. ポスター

2. 国立科学博物館の展示風景

(写真:©国立科学博物館)



3. 展示什器 1

(写真: @Gottingham)



4. 展示什器 2

(写真:@Gottingham)



5. 展示什器 3

(写真:©岡庭璃子)



6. 引き出し開放時1

(写真:©Gottingham)



7. 引き出し開放時 2

(写真:©Gottingham)



8. 引き出し開放時3

(写真:©岡庭璃子)

#### 【記事利用の際のお願い】

- \*写真使用は本展の紹介のみとさせていただきます。本展終了後の使用はできません。
- \*写真掲載時には、資料のクレジットを必ずご記載ください。
- \*記事のなかで、会期、入館料、開館時間などの基本情報をご掲載いただく場合は確認のため、 校正の段階でお送りください(記事内容をチェックするものではありません)。
- \*ご掲載いただいた場合は、掲載誌等をお送りくださいますようお願い申し上げます。

〈お問合せ先・巡回希望〉国立科学博物館 科学系博物館イノベーションセンター 田邊・中山

電話 03-5814-9808 FAX 03-5814-9899

E-mail: junkaiten@kahaku.go.jp

〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20